

平成 1 2 年度試験研究成果

CM3 = 「アイマムホワイト」

区分	普及	題名	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM3」(白色 スプレー咲き)		
〔要約〕夏秋ぎく系小ぎく「CM3」は9月上中旬咲きで白色の小ぎくである。小ぎく「白鳩」とスプレーギク「ニコル」を交雑して作出した品種であり、従来品種より側枝や孫芽の少ないスプレータイプである。					
キーワード	品種	小ぎく	夏秋ぎく系	園芸畑作部	花き研究室

1. 背景とねらい

岩手県の小ぎくは北上市を中心に県下全域で栽培されており、平成 11 年度には生産額が約 3 億円、作付け面積は 50ha と主要な品目の 1 つになっている。現在、栽培に用いられている種苗会社の品種は県外気象下で選抜、育成されたものであるため、岩手県の気象に適さない品種もある。

また、小ぎくに対する消費者の嗜好動向は変化しており、従来品種より側枝や孫芽の少ない、スプレー咲きで緑芯の小ぎく品種の人気が高い。

そこで、新品種育成にあたっては、側枝や孫芽の少ないスプレータイプであること、花色が良いことを目標とし、本県の立地条件に適合したオリジナル品種を選抜、育成した。

2. 技術の内容

(1) 来歴

1996 年に 9 月咲きの白色小ぎく「白鳩」に 9 月咲きの桃色スプレーギク「ニコル」を交雑し、得られた実生株を 1997 年に選抜した。1998 年に開花期、花色、病害虫の発生等について選抜を行い、優良な 1 系統を得た。1999 年から現地試作を行い、有望であると認められた。

(2) 特性の概要

ア 開花期：9 月上中旬。

イ 草丈：100 ~ 120 cm。

ウ 花：花弁は一重。舌状花色は白黄 (yellow white)。管状花色は緑。

エ 花蕾数：「こずえ」「かもめ」より少ない。

オ 葉：葉色、光沢度、厚さは中程度である。

カ 茎：強度は強い。

キ 花房形：平咲き形または平咲き形で頂花下がる。

ク 白さび病発生度：「こずえ」より少ない。

3. 普及上の留意事項

(1) 気象条件やマルチの有無、施肥量等の栽培条件によっては開花期が前後する。

(2) 白さび病防除は慣行通り行う。

4. 技術の適応地帯

(1) 適 応 地 域 県中南部及び沿岸部

(2) 適 応 作 型 定植期：4 月下旬 ~ 5 月上旬 露地栽培

(3) 普及見込み面積 5 h a

5. 当該事項に係る試験研究課題

[花き 3] - 1 - (2) - イ - (イ) - b ニュータイプ小ぎくの品種育成

6. 参考文献・資料

7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1. 「CM3」の開花期と切り花品質

栽培場所	年次	開花期 (月/日)	切り花長 (cm)	葉数 (枚)	切り花重 (g)	分枝数 (本)	花蕾数 (個)	花房形*1
農研 センター	1998	8 / 28	88.9	-	117.5	25.3	67.1	平~平咲
	1999	9 / 6	115.3	44.0	91.0	17.8	50.1	平~平咲
現地	1999	9 / 17	116.3	44.3	117.0	19.8	70.6	平

農研センター：株間 8cm、条間 45cm 黒マルチ

現地：北上市岩崎 株間 10cm、1条植え マルチなし

定植期：4月下旬

*1 花房形：平 平形 平咲 平咲き形

表2. 品種特性の比較

品種名	開花期	草丈	花蕾数	花房形	白さび病発生度
「CM3」	9月上中旬	高	少	平~平咲	中~少
「こずえ」	〃	低	多	平咲	中~多
「かもめ」	8月中旬~8月下旬	低	中	平咲	少

注) 栽培委託農家からの聞き取り調査

表3. 「CM3」の品種特性 (1999年)

花色*2	管状花色	花の重ね	茎径 (mm)	茎強度	葉色	葉の 光沢度	葉の厚さ (mm)
黄白 (2501)	緑	1.5列まで	5.1	強	中	中	0.42

花首長 (mm)	花首の発生*3 角度(度)	上位10節以内の2次 側蕾*4の出現度(%)	葉身長 (mm)	葉幅 (mm)	管状花部の 直径(mm)	花の直径 (mm)
50.4	30~39	80	75	58	10.8	36.6

*2 花色：JHS カラーチャートによる

*3 花首の発生角度：

*4 2次側蕾：側枝に2次的に着生する花蕾のこと

